



証券コード:2269

ESGミーティング資料

明治グループのESG

2020年12月9日

明治ホールディングス株式会社

1. 明治グループのサステナビリティ

2. Governance（コーポレート・ガバナンス）

3. Environment（環境）

4. Society（社会）

1. 明治グループのサステナビリティ

2. Governance（コーポレート・ガバナンス）

3. Environment（環境）

4. Society（社会）

「栄養報国」



明治グループ創業者
相馬半治

明治グループ理念

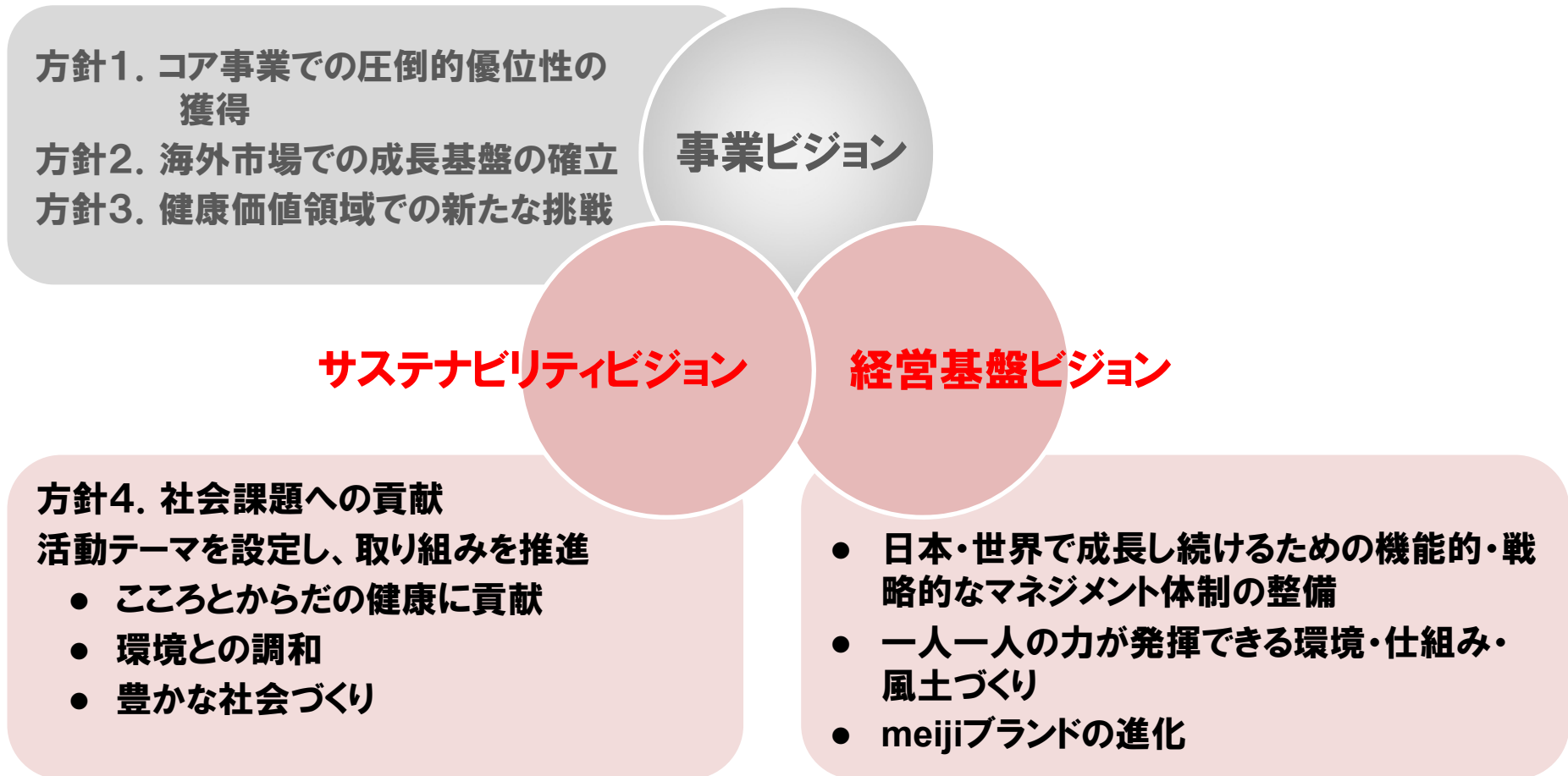
私たちの使命は、
「おいしさ・楽しさ」の世界を拡げ、
「健康・安心」への期待に応えてゆくこと。

私たちの願いは、
「お客さまの気持ち」に寄り添い、
日々の「生活充実」に貢献すること。

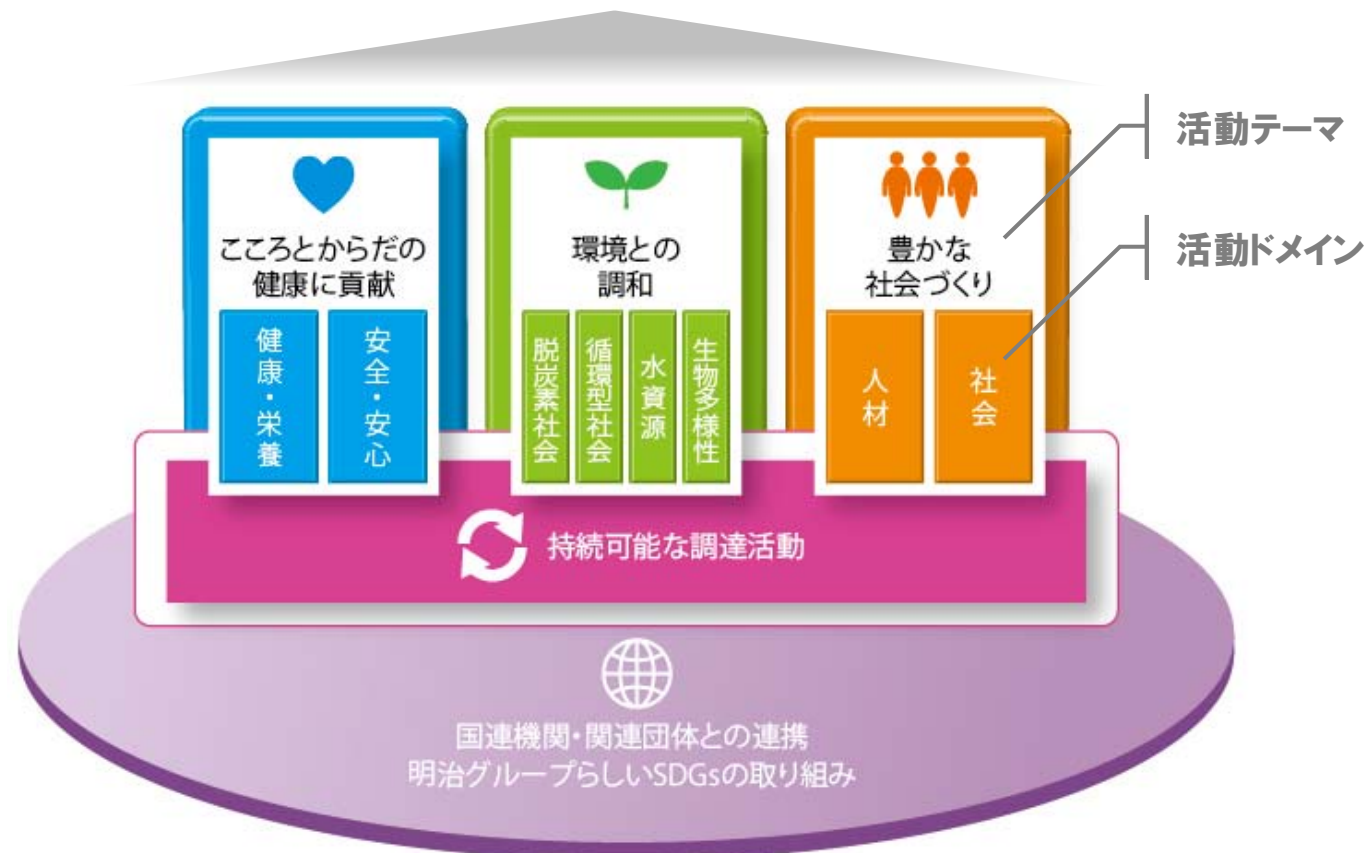
私たち明治グループは、「食と健康」の
プロフェッショナルとして、
常に一步先を行く価値を創り続けます。

目指す企業グループ像

明治グループ100年で培った強みに、新たな技術や知見を取り入れて「食と健康」で一步先を行く価値を創造し、日本、世界で成長し続ける

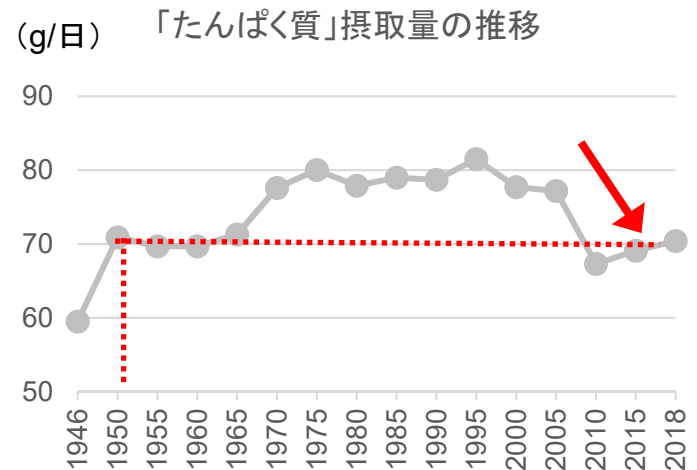


明治グループは、食と健康のプロフェッショナルとして
事業を通じた社会課題の解決に貢献し、
人々が健康で安心して暮らせる「持続可能な社会の実現」を目指します



「TANPACT」で低栄養の社会課題の解決に貢献

- 現代人のたんぱく質摂取量は1950年代と同水準まで低下
- 「1日+10g」のたんぱく質摂取を提案、日常の様々なシーンで補給できる明治ならではのラインアップで展開
- 他の食品メーカーと協業し、ラインアップを拡充



2020年春 **14**SKU → 2020年11月 **26**SKU

*1

出所：厚生労働省

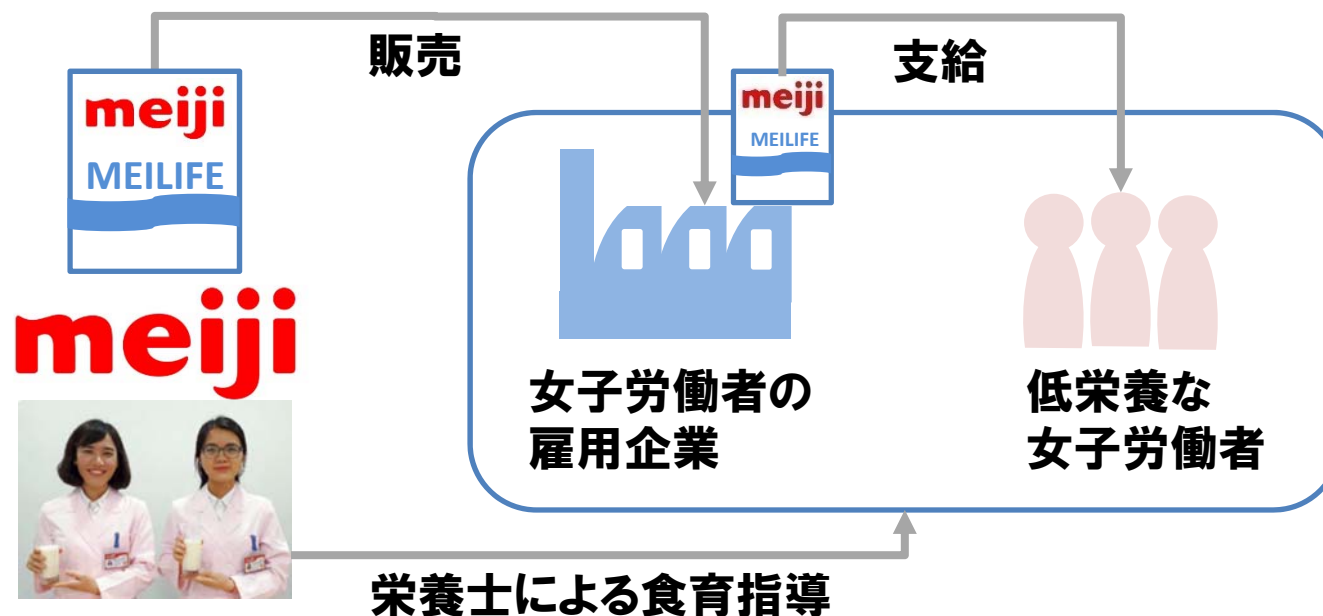
meiji ヤマザキ 伊藤ハム yonekyu



タンパクト
TANPACT

発展途上国の栄養課題をミルクで改善

- ベトナムにおける女子労働者の栄養改善事業を企画、JICA(国際協力機構)のSDGsビジネス支援事業に採択
- ベトナムにおける栄養不足の女子労働者の割合は3割
- ベトナムで販売している「ママミルク」をベースにした栄養強化ミルク「メイライフ」を活用した栄養改善ビジネスモデルを開発



感染症対策と医薬品の安定供給

● 新規ワクチンや治療薬の研究・開発

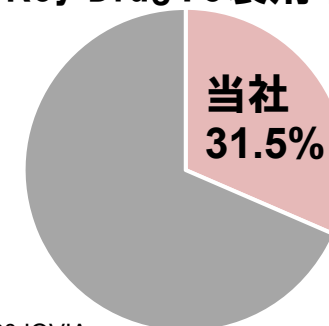
ステージ	開発コード	薬効分類・目標適応
Phase I / II 準備中	KD-414	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の予防
Phase I (海外)	KD-382	デング熱の予防
Phase III Phase II	KD-370	百日せき菌、ジフテリア菌、破傷風菌、ポリオウイルス、ヘモフィルスインフルエンザ菌b型による感染症の予防
Phase I	OP0595	β-ラクタマーゼ阻害薬

● 抗菌薬の適正使用、安定供給

- 抗菌薬の適正使用による薬剤耐性(AMR)対策の推進
- Key Drug^{*1}の安定供給体制を強化

^{*1}: 日本化学療法学会、日本感染症学会、日本臨床微生物学会、日本環境感染学会が選定する臨床的に重要な10の抗菌薬

当社5製剤数量シェア^{*2}
(Key Drug10製剤中)



^{*2}: Copyright © 2020 IQVIA

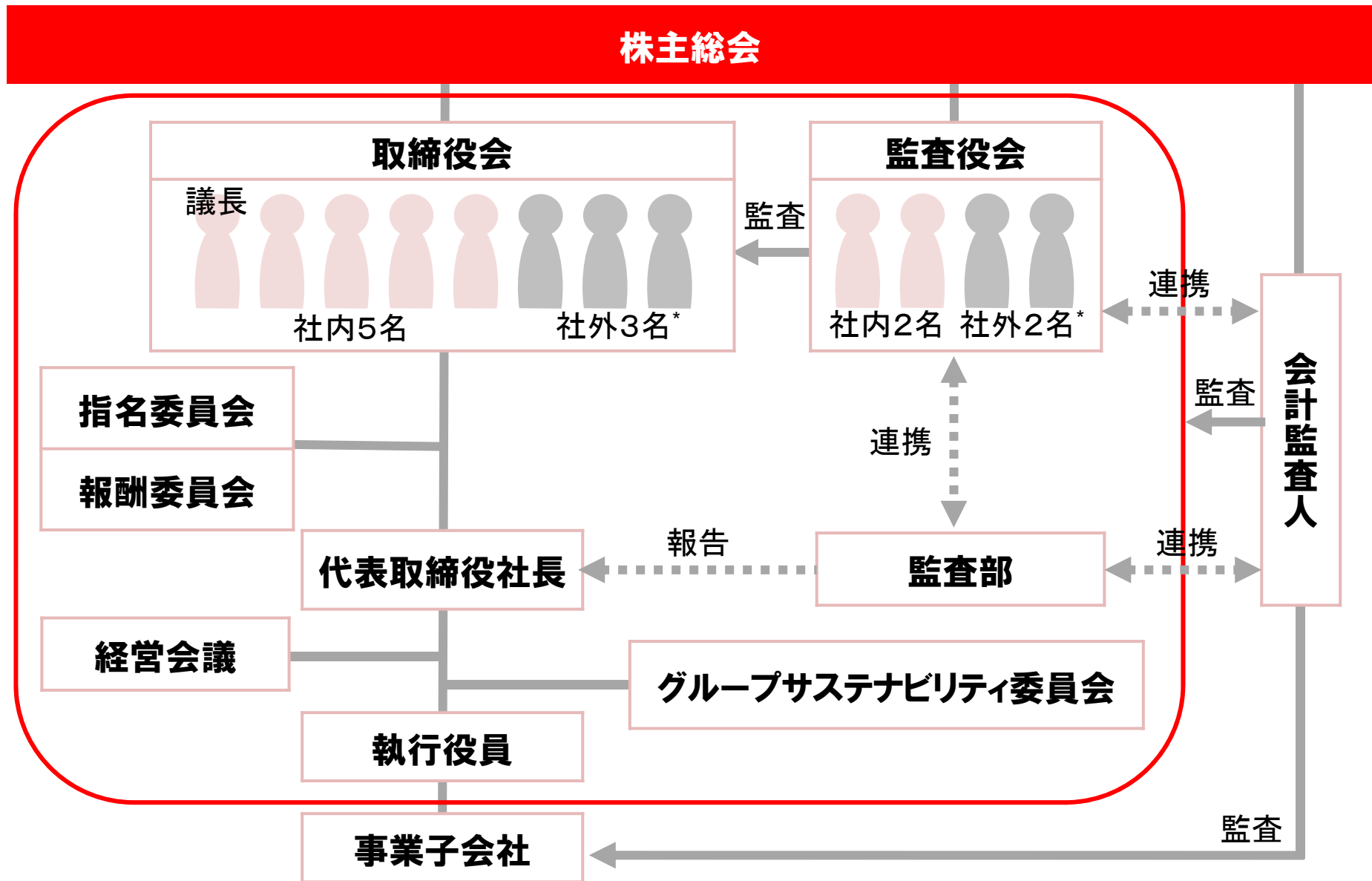
出典: IQVIA医薬品市場統計 JPM 2020年3月MATをもとに作成。市場の範囲は当社の定義による *無断転載禁止

1. 明治グループのサステナビリティ

2. Governance（コーポレート・ガバナンス）

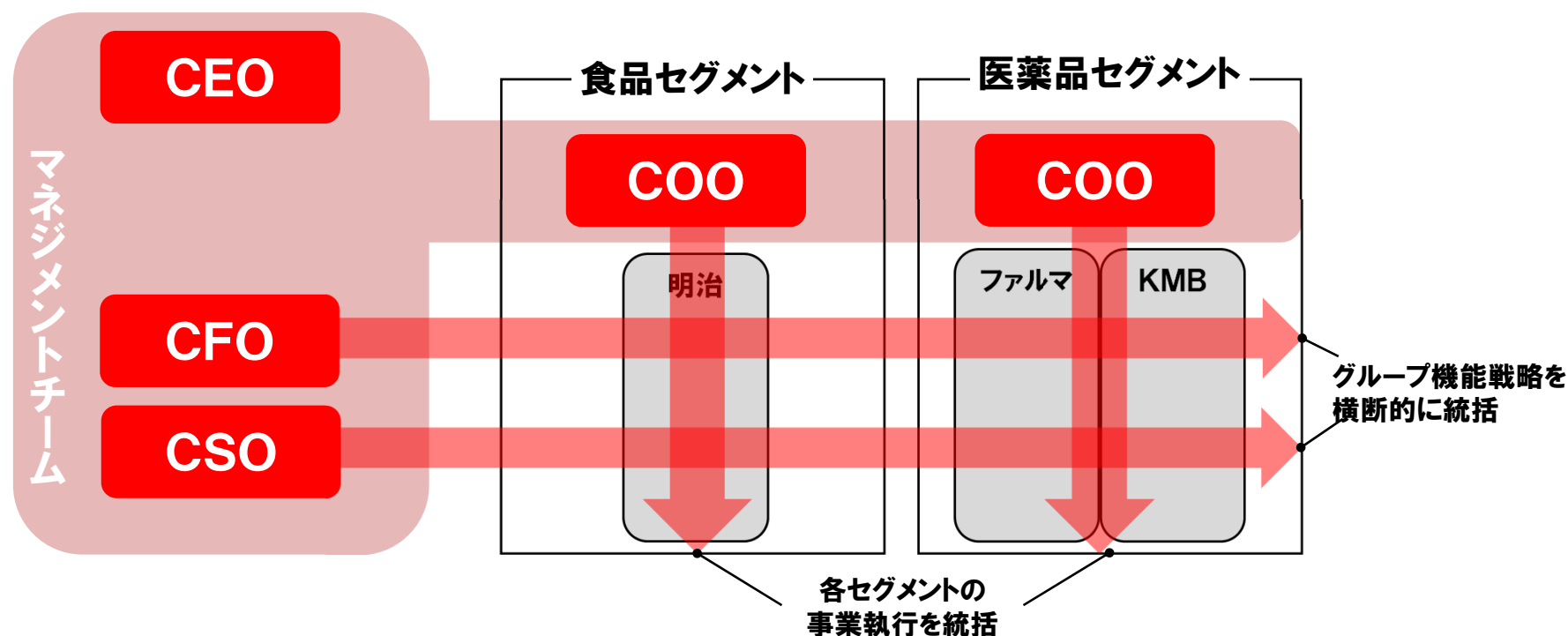
3. Environment（環境）

4. Society（社会）



チーフオフィサー制の導入

- 2020年6月、チーフオフィサー制を導入
- CEOマネジメントチームによる戦略会議を開催



- | | |
|--------------------------------------|---------------------------------|
| ● CEO (Chief Executive Officer) | グループ全体の最高経営責任者として、グループの経営を統括 |
| ● CFO (Chief Financial Officer) | グループの財務戦略、経営管理を統括 |
| ● CSO (Chief Sustainability Officer) | グループのサステナビリティ事業戦略、サステナビリティ活動を統括 |
| ● COO (Chief Operating Officer) | 食品セグメント・医薬品セグメントの事業執行を統括 |

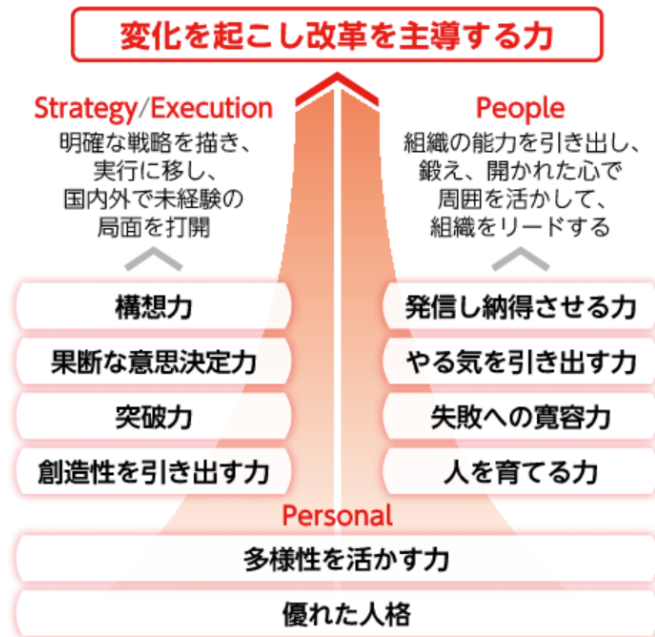
● メンバー

委員長	川村	社内取締役
委員	岩下	社外取締役
	村山	
	松村	

● 主な審議内容

2018年	リーダーシップバリュー(求める経営人材像)
2019年	サクセッションプランの展開方針(HDおよび主要事業会社の社長の後継候補者の選定・開発施策)
2020年	現任社長の選解任、社長後継候補者の選定、社長後継プール人材の選定

● リーダーシップバリュー



● 資質・育成方針を討議(イメージ)

本人の特徴(強み・課題)		強み	課題	詳細
戦略策定・実行	構想力			●
	果断な意思決定力	●		●
	突破力			●
	創造性を引き出す力			
組織・人材	発信し納得させる力		✓	
	やる気を引き出す力			●
	失敗への寛容力			●
	人を育てる力	○		
資質	多様性を活かす力			●
	優れた人格	○		●
2026 ビジョンに対する取り組み(理解度・指示・アクション)				●
今後望ましい経験				●

主な経歴(課長職以上)		直近の役割・実績				
課長職	部長職	期間	ポジション	役割	功績	評価
●	●	—	—	●	●	●

● メンバー

委員長	川村	社内取締役
委員	岩下	社外取締役
	村山	
	松村	

● これまでの取り組み

2011年度	取締役/執行役員報酬規程
2015年度	報酬委員会規程制定
2017年度	譲渡制限付株式報酬制度導入

● 取締役報酬(社外取締役を除く)

項目	内容	割合	
基本報酬	役位・職責に応じた固定報酬	固定	約60%
業績連動報酬	会社業績(売上高・営業利益)および個人業績に応じた短期インセンティブ	変動	約40%
株式報酬	株価動向に連動する中長期的インセンティブ		

次期中計に向けての検討

- 資本効率性の観点
- サステナビリティの観点

- **実効性評価**

調査項目

取締役会の役割(方向づけ、監督、後継者計画、議論、議案・報告事項)

取締役会の構成

取締役会議長の運営

資料とプレゼンテーションの質

事務局の運営

前年度課題として掲げた事項

- **取締役会議長と独立社外取締役の個別面談**

1. 明治グループのサステナビリティ

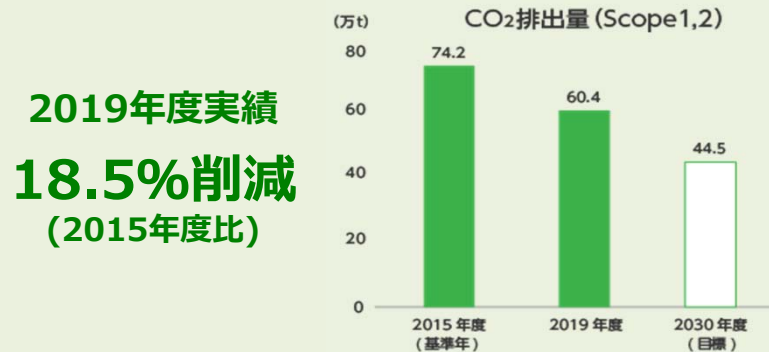
2. Governance（コーポレート・ガバナンス）

3. Environment（環境）

4. Society（社会）

✓ CO2排出量の削減

KPI 2030年度までにグローバルでのCO2総排出量(Scope1,2)を2015年度比40%以上削減



【SBT*認定取得に向けた取り組み】

- ・環境省補助事業「SBT目標設定支援事業」に参加
- ・**2020年度中にSBTイニシアチブへコミット予定**
- ・2022年度中の認定取得を目指す

✓ 特定フロンの全廃

KPI 2030年度までに国内生産拠点において、冷蔵・冷凍設備等で使用されている特定フロンを全廃

【特定フロンの全廃】

- ・**大型設備から先行して更新を実施。**
(26年度までに台数ベースで80%削減の見込)

《自然冷媒への切り替え実績》

【明治】

- 2015年度 京都工場、群馬工場
- 2017年度 九州工場
- 2018年度 京都工場、守谷工場、東海明治
- 2019年度 神奈川工場、守谷工場、長野デポ、東海明治

【KMバイオロジクス】

- 2015年度 熊本事業所
- ※事業所名の重複は、複数の機器を順次更新しているため。

✓ 再生可能エネルギーの活用推進

KPI 2030年度までにグローバルで総使用電力量に占める再生可能エネルギー比率を50%以上へ拡大

《太陽光パネル導入実績》

- 【明治】 2011年度 大阪工場、2014年度 愛知工場
2020年度 九州工場、明治油脂、栃木明治牛乳
- 【KMバイオロジクス】 2011年度 菊池研究所、配送センター



明治油脂 太陽光発電モニター

✓ TCFDに沿ったシナリオ分析を進め、リスクと機会について事業活動への反映を推進

- ◆ 重要な事業領域である“乳原料”と“感染症”について、4℃シナリオと2℃シナリオにて分析し、対応策について検討実施
- ◆ 2019年にはTCFDへの賛同および「TCFDコンソーシアム」に加入済

乳原料

	財務インパクト項目	影響度	
		4度	2度
リスク	牛舎運営費(飼料費、暑熱対策費)の増加	大	—
	乳原料購入価格の増加	小	—
	水リスクによる損害の増加	中	—
	電力コストの増加	小	—
	炭素税におけるコストの増加	小	大
	プラスチック規制に伴うコストの増加	—	小
	エシカル消費による需要減少	—	小
機会	新規需要の拡大(止渴飲料等)	小	小~中

感染症

	財務インパクト項目	影響度	
		4度	2度
リスク	自然災害に伴う操業停止による機会損失	大	—
	自然災害に伴う物流コストの増加	大	—
	水リスクによる水調達コストの増加	大	—
	電力コストの増加	中	中
	炭素税におけるコストの増加	小	大
機会	気候変動による感染症の拡大	中	—

2021年度も引き続き詳細分析を行うとともに、新しいカテゴリーの分析を実施予定

プラスチック使用量削減に向けた取り組み

✓ プラスチック使用量の削減

KPI 2030年度までに国内の容器包装などのプラスチック使用量を2017年度比25%以上削減、
およびバイオマスプラスチックや再生プラスチックの使用を拡大

▶これにより、2017年度使用実績3万800tから**7,700t**を削減を想定

《具体的な取り組み》

リデュース(軽量化)

プロビオヨーグルトのミニPETを13.7g→8.7gへ

- ・生産ラインの順次切り替えを推進
- ・2023年度を目標に更なる軽量化ラインを導入予定



既に2014年から2017年で
1,660tの削減を実施

バイオマスプラ、再生プラの使用拡大

- ✓ プラスチック製ストローにバイオマスプラスチックを配合

商品に貼付しているプラスチック製ストロー(年間約6億本)を2020年度から順次バイオマスプラスチック配合へ切り替え

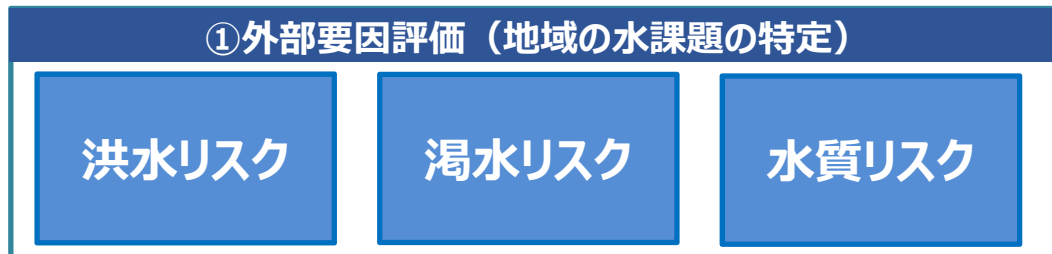
- ✓ ザバスのプラカップにバイオマスプラを配合
- ✓ 果汁グミなどの菓子袋でバイオマスプラや再生プラ配合への切り替えを検討



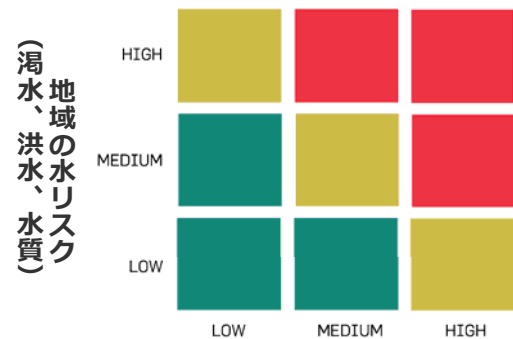
✓ 水リスク評価および情報開示

【STEP 1】

事業所が立地する地域の水リスク(渇水・洪水・水質リスク)について、AQUEDUCT*、ハザードマップにより評価



評価結果を2020年7月開示▶



事業への影響・事業が環境に与える影響

【STEP2】

事業影響度(事業所の生産高・取水量・排水量)を分析し、STEP1の地域の水リスクと2軸で評価した上で優先度の高い拠点を洗い出す

	水資源リスク	洪水リスク	水質リスク
日本 52事業所	0%	58%	0%
中国 5事業所	20%	80%	60%
アジア 13事業所	62%	31%	69%
米国・欧州 3事業所	67%	67%	0%

【STEP3】 今後の取り組み

リスクの高い拠点について対応策を検討

主な投資分野

※2021年度から2023年度までの3年間

項目	投資内容
CO ₂ 排出量の削減	<ul style="list-style-type: none">● 国内外の工場への省エネルギー設備の導入● 太陽光発電設備の導入 など
脱フロン対策	<ul style="list-style-type: none">● ノンフロン冷蔵、冷凍設備の導入
プラスチック使用量の削減	<ul style="list-style-type: none">● 包装容器変更のための設備投資● 環境配慮型包装材料の調達費用 など
水資源の確保	<ul style="list-style-type: none">● 水の効率的な使用に資する設備の導入● 水質改善設備の導入 など

1. 明治グループのサステナビリティ

2. Governance（コーポレート・ガバナンス）

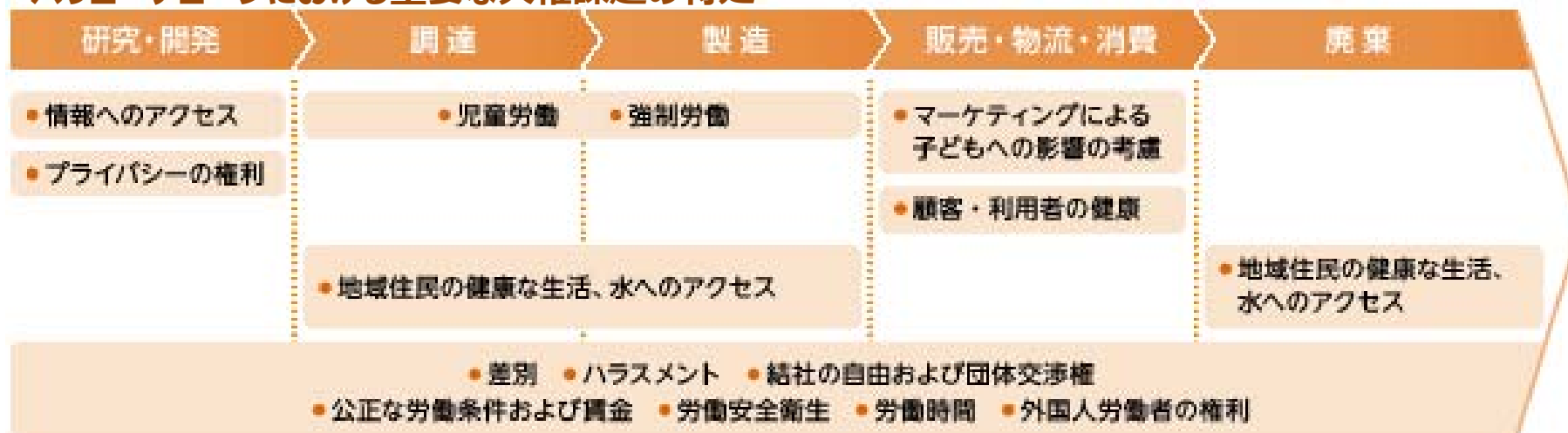
3. Environment（環境）

4. Society（社会）

人権デュー・ディリジェンスへの取り組み

2019年7月に設置したグループ人権会議により、人権デュー・ディリジェンスを推進
人権ポリシーの改訂、バリューチェーンにおけるリスク洗い出しおよび優先順位付け等を実施

バリューチェーンにおける重要な人権課題の特定



2019年度に取り組んだ優先項目

◆食品の原材料調達における人権課題

- ✓ 事業活動に必須であり人権課題が懸念される6種の原材料を特定
- ✓ 明治における一次サプライヤーのリストアップ



◆医薬品の原材料調達における人権課題

- ✓ 原薬調達先の国・地域の確認
- ✓ Meiji Seikaファルマ、KMバイオロジクスにおける一次サプライヤーのリストアップ

◆外国人労働者の人権課題

- ✓ 国内グループ会社における外国人労働者のリストアップ
- ✓ 明治のグループ会社8社へのアンケート実施 & 分析

責任あるサプライチェーンの構築への取り組み

企業は自社内だけでなく、サプライチェーン全体における人権や環境に関する課題にも責任をもつことが求められており、**責任ある調達活動を実現**するためのリスクの予防や軽減対策を行う仕組みの構築を進める。

サプライヤー行動規範の策定

サプライヤーとともに**責任あるサプライチェーン**を構築するために、調達活動において**目指すべき姿**を呈示した「**明治グループサプライヤー行動規範**」を策定

<記載項目>

人権・労働、安全健全な職場環境、環境への配慮、持続可能な調達、など9項目にて構成

サステナブル調達アンケートの実施

サプライヤーの現状把握を行うために**2020年10月より「サステナブル調達アンケート」を開始予定**

<2020年度実施概要>

- ・3事業会社の本社が直接取引する一次サプライヤーのうち**76社を選定**
【選定基準】取引金額の約8割を占める企業

●アンケート展開スケジュール

2020年9月

ケサ
ート
トプ
実ライ
施ヤ
のー
事への
前アン
連絡

10月中旬

サ
プ
ライ
ヤー
説明
会

10月下旬
～12月

ア
ン
ケ
ー
ト
実
施

2021年1月
～3月

フ
ィ
ー
ド
バ
ッ
ク
回
答
内
容
分
析
&

●アンケート手法

- ・**EcoVadis***アンケートまたは**明治オリジナル版**アンケートを活用

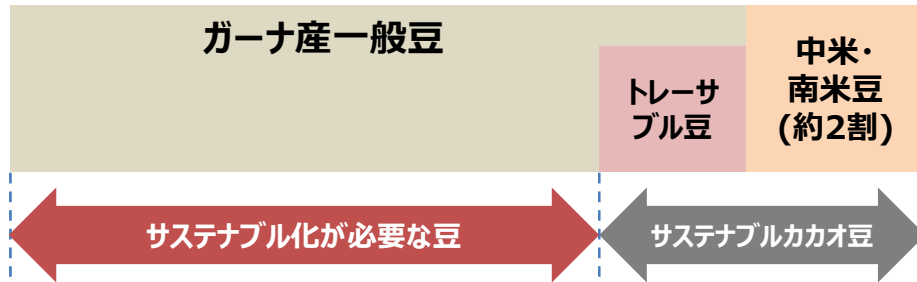
●2021年度以降

- ・2020年度実施企業において必要な改善対応の実施
- ・**国内グループ会社および海外グループ会社のサプ
ライヤーへ対象を拡大**

カカオ豆
KPI

2026年度までに持続可能なカカオ豆の調達比率を100%へ

●カカオ豆調達状況（産地別）



※持続可能なカカオ豆とは
農家支援を実施した地域で生産されたカカオ豆のこと

- ✓ 2019年度は約3割が持続可能なカカオ豆
- ✓ 持続可能な化が必要な豆はガーナ産一般豆の約8割（全体の約7割）
- ✓ 支援の4つのポイント

森林破壊
の撲滅

児童労働
の撲滅

生活環境
の改善

品質及び
生産性
向上

パーム油
KPI

2023年度までにグローバルで認証パーム油へ100%代替

①国内のパーム油使用量のうちRSPO
認証油の割合**10%**
(2019年度実績)



②今年度のRSPO認証取得と、認証パーム油の納入開始状況は右表のとおり

	認証取得	納入開始
群馬栄養食工場 関西栄養食工場	2020年9月取得済	2020年10月
明治油脂 九州工場	2020年度中取得 予定	2021年4月予定

2020年度は約60%切り替え見込み

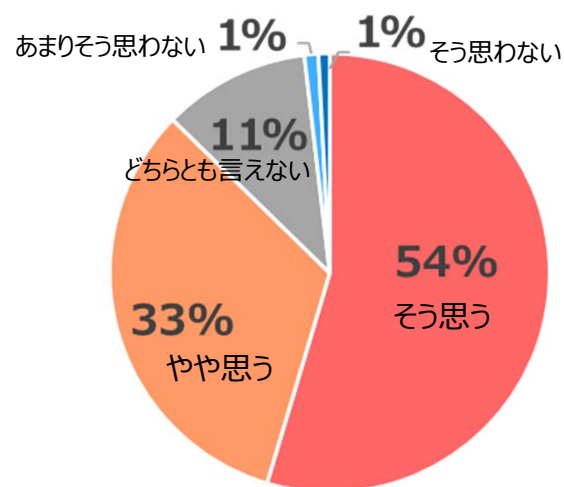
※2020年11月時点で国内11工場にて認証取得済

サステナビリティの自分ゴト化への取り組み

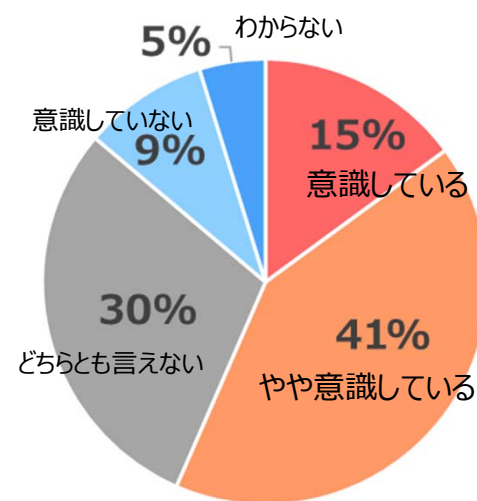
2020年度 サステナビリティに関する明治グループ従業員意識調査

- 実施期間：2020年4月20日(月)～4月24日(金)
- 対象者：明治ホールディングス、明治、Meiji Seika ファルマ、KMバイオロジクスの従業員10,447名
- 回答率：83%
- アンケート手法：各社のeラーニングシステム活用 ■ 質問数：全32問

サステナビリティ活動について企業価値を高めるために重要だと思うか



普段、社会課題を意識して業務を遂行しているか



- ① サステナビリティ活動が「企業価値を高めるために重要だと思う人」は**87%**と、**サステナビリティ活動の重要性は理解されている**
- ② 一方で、**普段から社会課題を意識して業務を遂行している人は56%**と**意識と行動にギャップ**がある

従業員のサステナビリティに対する意識の向上が必要 ⇒ 一人一人の「自分ゴト化」が重要

サステナビリティの自分ゴト化への取り組み

✓ 従業員向けサステナビリティ講座実施

2020年4月より明治HD、明治、Meiji Seikaファルマ、KMバイオロジクスにて全従業員に対し実施
 現在、第4回まで実施済 参加率：約90%



✓ 従業員向けサステナビリティBOOKの制作と配布

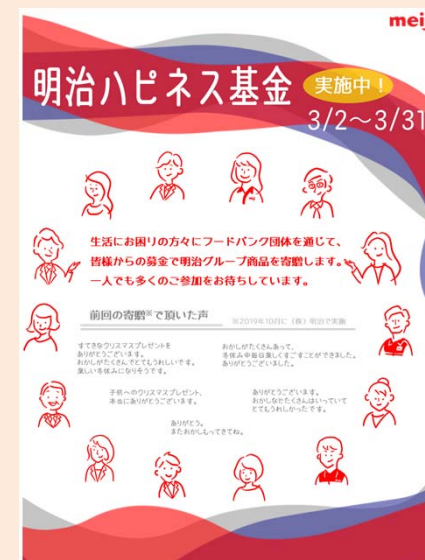
社会課題と密接に結びついた事業活動について解説。日々の業務における社会課題との結びつきへの気づきを促す



✓ 明治独自の社内募金制度「明治ハピネス基金」の設立

従業員一人一人が自発的に参加できる活動によりサステナビリティに対する意識を高め、社会課題を「自分ゴト化」するきっかけ作りの目的で設立

2020年4月、10月の計2回実施し、フードバンク団体等への寄贈を実施



✓ サステナビリティ推進リーダーの設置検討

各職場単位でサステナビリティ活動の浸透と活性化を図り、グループ全体の活動をより一層加速させる

Cisco Webex Events | イベント情報 | メニューバーを非表示にする ^ | 接続済み | - | □ | ×

ファイル(F) | 編集(E) | 表示(V) | 音声とビデオ(A) | 参加者(P) | イベント(I) | ヘルプ(H)

山下美樹 自分 | 明治ホールディングス 主催者

meiji | 明治ホールディングスのアナウンス | 証券コード: 2269

ESGミーティング資料

明治グループのESG

2020年12月9日
明治ホールディングス株式会社

参加者

検索

パナリスト: 1

明治ホールディングス 主催者

出席者:

山下美樹 自分

ミュート解除 | 共有 | ... | × | 参加者 | チャット | 挙手

質問方法

①ご質問がある方は
挙手ボタンを
押してください

②ご質問への回答が
終わりましたらOFFにして
ください

※参加者ウィンドウが開かれておらず、挙手ボタンが見当たらない場合は、右下の「参加者」ボタンをクリックしてください

■お問い合わせ先**明治ホールディングス株式会社 IR広報部 IR広報G****電話：03-3273-3917****E-mail:ir-info@meiji.com**

- 本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報、および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などはさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。
- 本資料には、医薬品（開発中の製品を含む）に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。